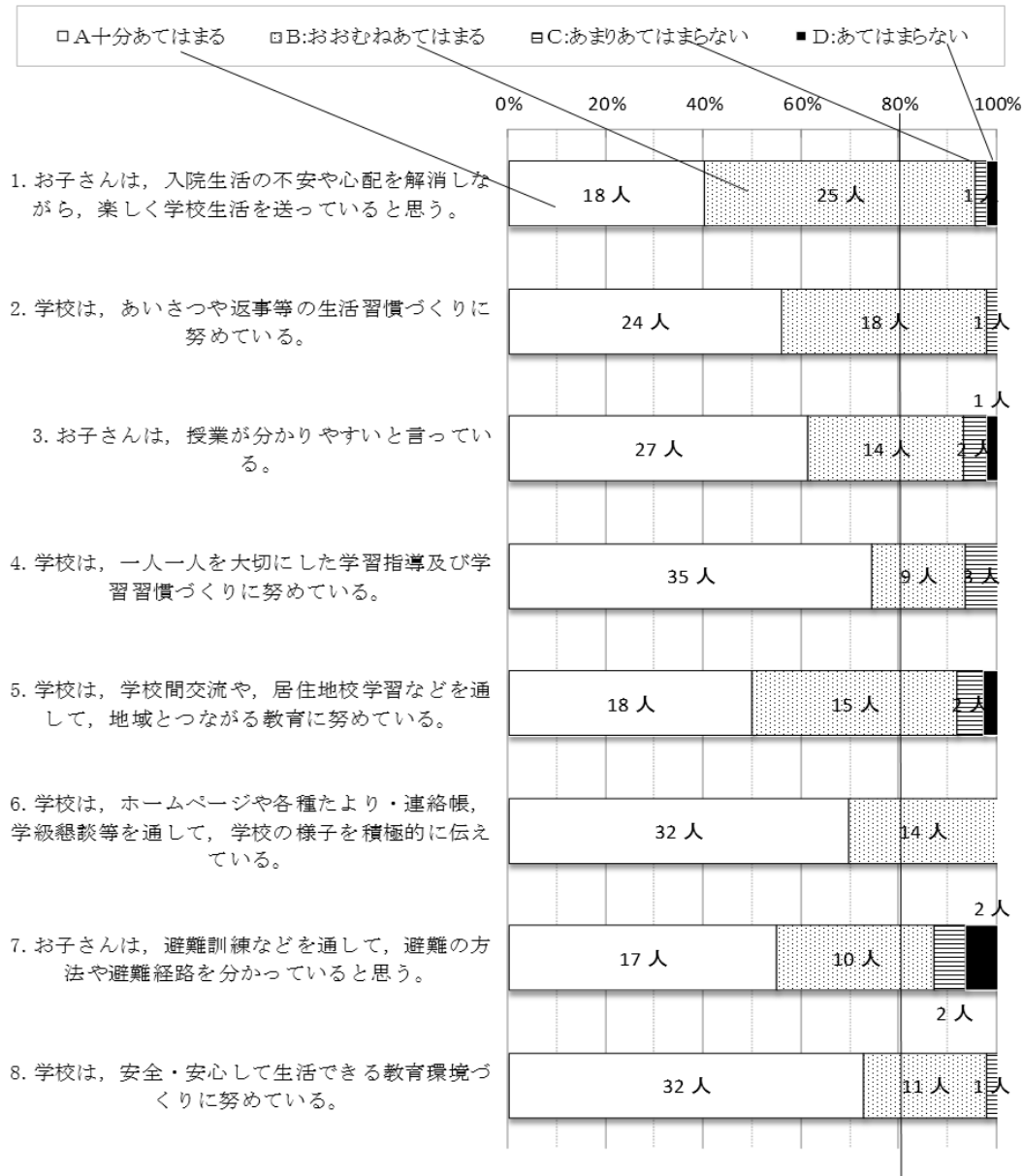


## 平成28年度学校評価〈学年末〉 保護者アンケート結果(48人)



## &lt;概要&gt;

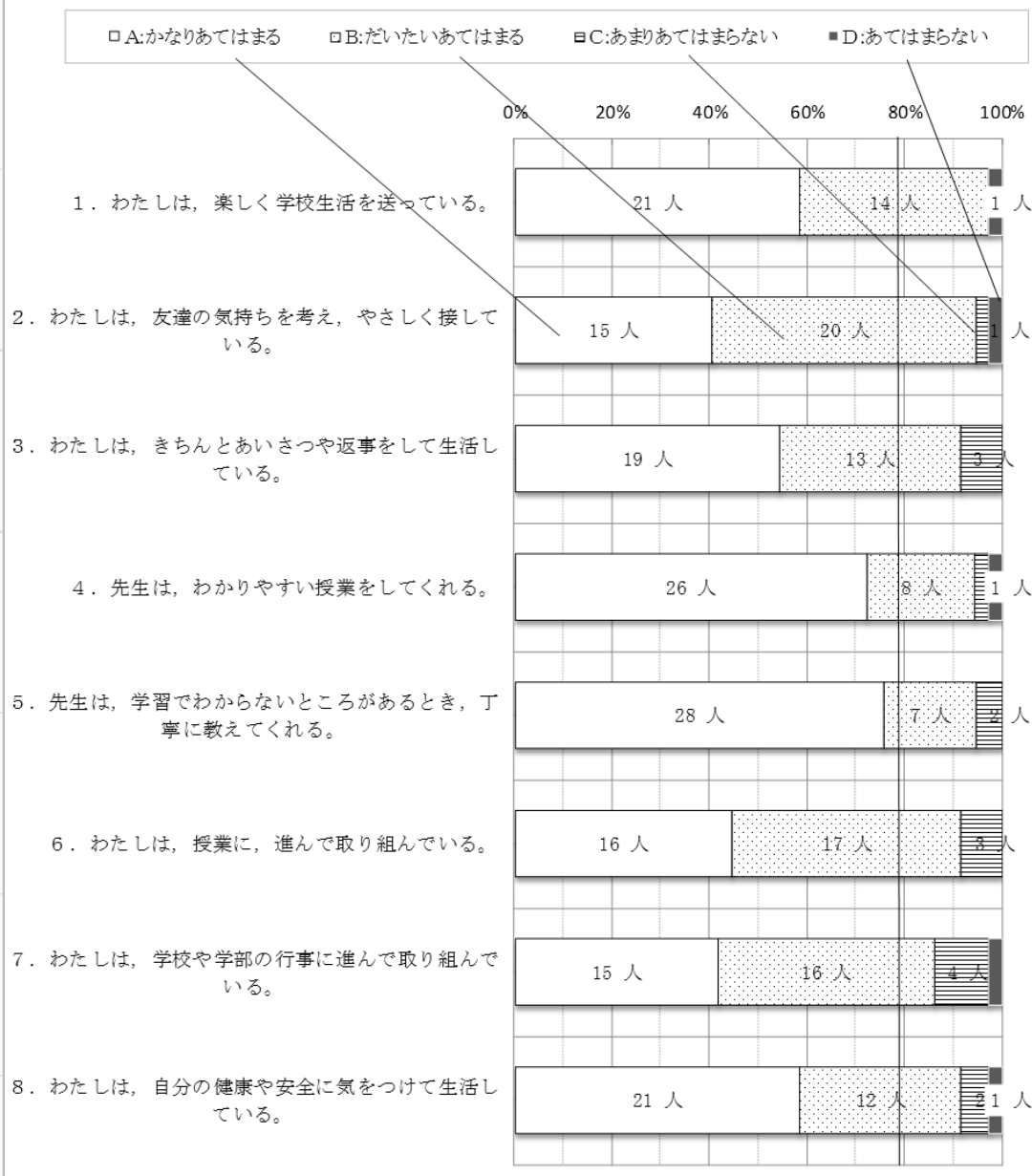
全項目とも評価A+Bが、目標とする80%を大きく越えている。評価Aの値が高かったのは、項目4「一人一人を大切に学習指導」75%、項目8「安全・安心な教育環境作り」の73%だった。

項目1「楽しい学校生活」では、評価Aの割合が評価Bの割合よりも小さかった。病状や治療により登校できなかったことや入院が長期にわたり不安や心配を抱えているということも考えられる。入院中の不安や心配を解消できるようにしていきたい。

項目3「授業がわかりやすい」については、評価Aが中間と比べて 50%⇒61%となったが、CDの評価が3名いる他、無記入の方が4名いたことにも目を向けなければならない。

項目7「避難方法や経路の確認」については、中間評価で課題となったが、評価に変化はなく、今後も避難訓練等を通して、確認・学習したことを御家庭にも伝わり安心していただくよう、来年度へ向けて、改善していかなければならない。

## 平成28年度学校評価&lt;学年末&gt;児童生徒アンケート結果 (37人)



## &lt;概要&gt;

8項目中、全項目とも目標とする「評価A+B:80%」に達した。しかし、4つの項目で評価Dの回答があった。

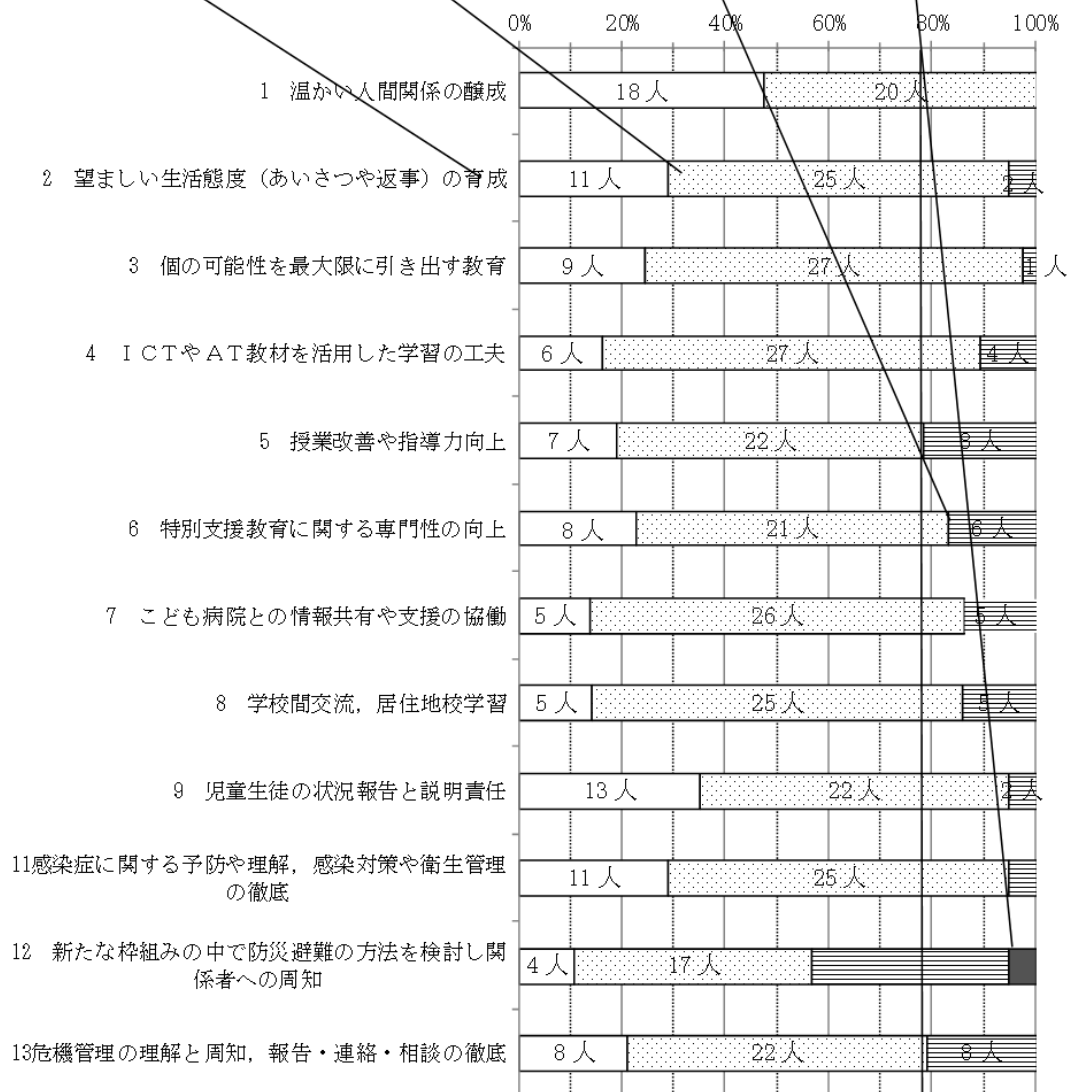
中間評価では、項目4(分かりやすい授業)で4人の児童生徒が「評価C:あまりあてはまらない」と回答していたが、わずかであるが減少した。また、評価Aが66%から72%に増加している。中間評価で課題となっていた項目8(健康や安全な生活)は、で評価Aが50%から58%に増加した。

評価Aと評価Bを比べると項目2(友達にやさしく)項目6(授業に進んで取り組む)項目7(行事に進んで取り組む)では評価Bの項目が大きいのが、全項目とも目標とする「評価A+B:80%」に達していることから、入院生活を送りながらも意欲的に学校生活を送っている様子が伺える。

今後は、授業や行事に進んで取り組む児童生徒を育てていきたいが、病状等により、思うように学習に取り組むことのできない児童生徒がいることにも配慮しなければならない。

### <平成28年度学校評価<学年末>職員アンケート集計結果 (38人)>

□A:十分あてはまる □B:おおむねあてはまる □C:あまりあてはまらない ■D:あてはまらない



#### <概要>

項目5(授業改善, 指導力向上)の評価A+評価Bの割合が78%, 項目12(避難方法の検討と周知)の評価A+評価Bの割合が57%, 項目13(危機管理の理解と周知, 徹底)の評価A+評価Bの割合が79%で, 全項目が目標とする「評価A+B: 80%」に達することができなかった。また, 評価Aの割合が評価Bよりも高かった項目もなかった。

評価Cがなかった項目は, 項目1(温かい人間関係の醸成)であった。

中間評価で課題となった項目6(特別支援教育の専門性の向上)については, 中間評価とほぼ同じであるが, 関係者コメントを見ると, 自立活動ミニ研修会が参考になったというコメントが複数あった。